

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

モーダルシフトで労働時間短縮

～時短・生産性を向上させる工夫～

①

「うちは運送屋なんだけど、どうしても労働時間や拘束時間が長くなる傾向にあるのよ。」

「長時間労働や運転は従業員の健康障害の原因になりますので、労働時間削減に取り組みましょう。」

「業界全体が同じだから仕方ないのかしら？」

②

「そうは言っても、うちは長距離輸送も多いんだけど、長距離輸送は1回の勤務が長くなりがちで・・・。便数を減らすにしても、赤字ギリギリでやってるから難しいんです。」

「高速道路を使って少しは削減してあげて？」

③

「トラックからフェリーなどの内航海運や鉄道の利用に切替えるモーダルシフト[△]はご存知でしょうか。モーダルシフトを進めることで、トラックドライバーは最寄りの港湾や貨物駅までの輸送で済むこととなり、拘束時間の短縮が可能となります。」

「それは面白い！」

「もちろん、実現には荷主の理解が不可欠です。」

④

「モーダルシフトを推進し、長距離便のときには、フェリーや鉄道を使用するように徹底しました。いまでは、ドライバーの長時間労働が解消され、従業員満足度も向上しています。」

「モーダルシフト推進で、従業員満足度も向上！」

◇：貨物の輸送を、大量輸送が可能な貨車や船舶輸送に切り替えることで労働時間短縮や二酸化炭素排出削減を図る取り組みのこと。

取組事例紹介

業種：トラック運送業 従業員数：60名

長距離輸送は短距離輸送に比べ、一勤務あたりの労働時間や拘束時間が長い傾向にあり、結果として、長時間労働となっていた。また、労働時間削減のため、高速道路を積極的に活用していたが、効果には限界があった。

＜モーダルシフトの推進＞

- 長距離輸送については、トラックからフェリーなどの内航海運や鉄道利用の切替えを進めた。
- フェリーや鉄道は運行ダイヤが決まっているため、これに乗り遅れないよう、出発時刻や到着時刻について、荷主への理解を求めた。

【コンサルティング費用を助成！】

○働き方改革推進支援助成金

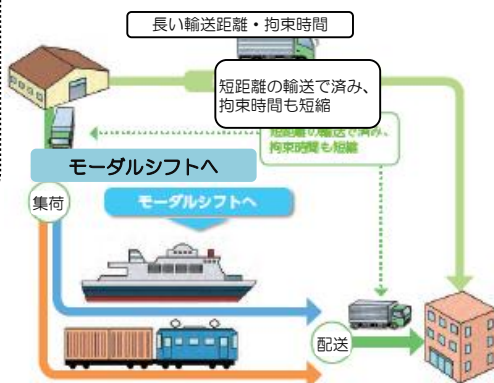
＜労働時間短縮・年休促進支援コース＞

助成率 75%
 （一要件の場合、80%）
 上限額 最大200万円
 （一要件の場合、最大440万円）

◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。



社労士等による
コンサルティング
費用を助成！



・モーダルシフト推進により、ドライバーは最寄りの港湾や貨物駅までの輸送で済むこととなり、労働時間の短縮が可能となったため、36協定の上限を引き下げた。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

詳しくは当センター特設サイトへアクセス ▶

愛知働き方改革推進支援センター

検索



QRコードでもアクセス可能です！

愛知働き方改革推進支援センター【令和3年度 厚生労働省・愛知労働局委託事業】

相談窓口：名古屋市千種区千種通7-25-1 サンライズ千種3階（タスクール内）

☎ 0120-006-802

※受付日時：月～金曜日（祝日等を除く）午前9時～午後5時

✉ aichi@task-work.com